

## 開催要項

### 1.大会スローガン

「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

### 2.研究主題

すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること

### 3.趣旨

人生100年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべての人が学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港166年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える2日間としたいと思います。

### 4.主催/共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、  
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、  
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

### 5.後援

神奈川県、横浜市、神奈川県公民館連絡協議会、神奈川県地域婦人団体連絡協議会、  
神奈川県社会教育協会、神奈川新聞社、t v k (テレビ神奈川)

### 6.期日

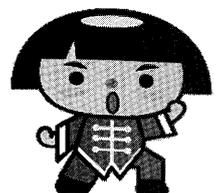
令和7年11月20日(木)・21日(金)

### 7.参加者

関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者  
同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者  
同地区の地域住民、NPO法人、社会教育士、  
学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

### 8.参加費

4,000円(参加資料代等) ※学生は2,000円



## 9.日程

第1日目 11月20日(木) 【全体会】	11:00	12:00	12:30	13:00	13:10	14:10	14:20	16:20	16:40	18:30
	受付	歓迎セレモニー	開会行事	記念講演	シンポジウム	閉会行事	情報交換会			

第2日目 11月21日(金) 【分科会】	9:30	10:00	12:30
	受付	分科会 (分科会ごとに閉会)	

## 10.会場

### 【第1日目】

#### <全体会>

関内ホール(大ホール)

〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1

JR関内駅北口徒歩6分、市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口徒歩2分

### 【第2日目】

#### <第1分科会>

関内ホール(小ホール)

〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1

JR関内駅北口徒歩6分、市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口徒歩2分

#### <第2分科会>

横浜市開港記念会館(講堂)

〒231-0005 横浜市中区本町1-6

みなとみらい線日本大通り駅1番出口徒歩1分

JR関内駅南口徒歩10分

#### <第3分科会>

横浜情報文化センター(情文ホール) 〒231-0021 横浜市中区日本大通11

みなとみらい線日本大通り駅3番情文センター口直結

JR関内駅南口徒歩10分

#### <第4分科会>

横浜市技能文化会館(ホール2) 〒231-0031 横浜市中区万代町2-4-7

JR関内駅南口徒歩5分

市営地下鉄ブルーライン伊勢佐木長者町駅2番出口徒歩3分

#### <第5分科会>

かながわ県民センター(ホール) 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

JR・みなとみらい線横浜駅きた西口徒歩5分

## 11.大会内容

### 【11月20日(木)】 第1日目<全体会>

(1)歓迎セレモニー「中華獅子舞」

(2)開会行事

①主催者あいさつ ②来賓祝辞 ③歓迎のことば ④来賓紹介

## 大会日程・次第

### 第1日目【全体会】（受付時間）11:00~12:00

司会:井上 美和子 氏

- 1. 歓迎セレモニー** 12:00~12:20(20分)  
「中華獅子舞」 学校法人横濱中華學院 様
- 2. 開会行事** 12:30~13:00(30分)
- (1)開会のことば 大会実行委員会副委員長 西村 雅代
  - (2)主催者あいさつ 大会実行委員会委員長 小池 茂子  
全国社会教育委員連合会長 鈴木 眞理
  - (3)来賓祝辞 神奈川県副知事
  - (4)歓迎のことば 横浜市副市長
  - (5)来賓紹介
- 3. 記念講演** 13:10~14:10(60分)  
テーマ:「誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして」  
認定NPO法人スローレーベル 栗栖 良依 氏
- 4. シンポジウム** 14:20~16:20(120分)  
テーマ:「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」
- シンポジスト
- 厚木市立森の里公民館前地区館長 青木 信二 氏
  - 東京都台東区教育委員会社会教育主事 阪本 陽子 氏
  - 相模原市社会教育委員
  - 一般社団法人視覚聴覚障害アドボカシー研究所
  - マイノリティリサーチセンター研究員 渡邊 健一 氏
- コーディネーター 青山学院大学コミュニティ人間科学部教授 伊藤 真木子 氏
- 5. 閉会行事** 16:20~16:40(20分)
- (1)次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ  
群馬県社会教育委員連絡協議会会長 岩崎 哲 氏
  - (2)全員合唱 ゆず「栄光の架橋」 作詞:北川悠仁 作曲:北川悠仁  
指揮 :大会実行委員会委員 鈴木 敦子  
ピアノ伴奏:大会実行委員会副委員長 佐々木 和子
  - (3)閉会のことば 大会実行委員会副委員長 丸田 昭文

**第2日目【分科会】 10:00～12:30(受付 9:30～10:00)**

およその流れ < 事例発表:各25分、協議:25分、全体共有:25分、総評:15分 > 途中休憩あり

<p align="center"><b>&lt;第1分科会&gt; 地域の教育力の再生と社会教育委員の役割</b></p>		
<p>地域の教育力の低下が指摘される中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。</p>		
<p>発表者・テーマ</p>	<p>【長野県下諏訪町】 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び ～紙芝居を作った私たちの物語～</p>	<p>助言者 若原 幸範 氏 (聖学院大学 准教授)</p>
	<p>【神奈川県海老名市】 子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して</p>	
<p align="center"><b>&lt;第2分科会&gt; 次の世代につなぐ持続可能な社会</b></p>		
<p>予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。</p>		
<p>発表者・テーマ</p>	<p>【栃木県市貝町】 地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた 新イベント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について</p>	<p>助言者 大木 真徳 氏 (青山学院大学 准教授)</p>
	<p>【神奈川県藤沢市】 「未来を担う人材育成」～地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム～</p>	
<p align="center"><b>&lt;第3分科会&gt; 家庭教育支援</b></p>		
<p>子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。</p>		
<p>発表者・テーマ</p>	<p>【群馬県高崎市】 「学び」を通じて親子が成長し、活躍できるための家庭支援 の方策について</p>	<p>助言者 久保内 加菜 氏 (鎌倉女子大学 教授)</p>
	<p>【神奈川県寒川町】 子どもの未来を地域で育てる ～公民館・図書館における家庭教育支援の取組～</p>	
<p align="center"><b>&lt;第4分科会&gt; 共生社会の実現</b></p>		
<p>年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。</p>		
<p>発表者・テーマ</p>	<p>【神奈川県川崎市】 多文化共生社会の実現に向けて ～市民館等での取組～</p>	<p>助言者 白木 賢信 氏 (東京家政大学 教授)</p>
	<p>【神奈川県茅ヶ崎市】 共生社会推進に向けて社会教育施設ができること ～誰もが活用しやすい公民館を目指して～</p>	
<p align="center"><b>&lt;第5分科会&gt; 地域学校協働活動</b></p>		
<p>地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。</p>		
<p>発表者・テーマ</p>	<p>【新潟県見附市】 社会教育委員がつなぐコミュニティ・スクールと地域学校協働 活動～新潟県見附市立見附中学校での取組～</p>	<p>助言者 藤原 文雄 氏 (国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長)</p>
	<p>【神奈川県真鶴町】 弱みを強みに！～小さな町の挑戦～</p>	